



福祉生活協同組合

さんコープ news

さんコープは「住み慣れた我が家で、地域で、安心して心豊かに暮らしたい」という願いを地域社会の中で実現します。

NO. 144



～ご挨拶～

理事長 岡崎 悟

この度、高木前理事長の後任として、理事長に選任いただきました岡崎でございます。

現在、コープやまぐちの理事長を務めている中で、さんコープの理事長という重責を担うことになり、改めて身の引き締まる思いであります。両生協の連携をさらに強め、さんコープとコープやまぐちの組合員にとってより良い生協づくりを目指していく所存です。

さて、組合員・利用者の皆様の暮らしや事業を取り巻く情勢は、昨年の消費税増税による消費の冷え込みでGDPがマイナス成長に転じる状況や、年が明けてからの新型コロナウイルス禍による経済活動の混乱、様々な活動自粛、また、慢性的な歳入不足による社会保障費の負担増や年金支給額の実質引き下げ、高齢者の医療費負担増の検討など、組合員やご利用者のくらしは益々厳しくなることが危惧され、事業も今まで以上に組合員に寄り添い役立つ取り組みが求められています。

その様な状況の中、去る6月13日に、第21回通常総代会を開催いたしました。今年は、新型コロナウイルスの感染リスクを出来る限り軽減するため、総代の皆様におかれましては書面議決でのご参加が中心となりましたが、上程致しました全ての議案を、全会一致でご承認いただきました。

2019年度は、厳しい事業環境の中でも、事業高は前年を上回ることができ、経常剰余も予算を達成することができました。加えて、本年3月には念願であった地域密着型介護事業の一つである「看護小規模多機能型居宅介護」事業の承認を山口市から受けることができ、認可制の事業へ領域を広げていくこととなりました。事業開始は2021年の予定ですが、今年度の中でしっかりと準備し、より良いサービス提供に努めてまいります。また、現在ご利用いただいております既存事業につきましても、2019年度に導入致しました「生協10の基本ケア」の実践をより深め、①尊厳を護る、②自立を支援、③在宅を支援の3つを基本に、利用者とその家族が住み慣れた地域で自立した生活を継続できることを目指します。そういった事業を推進していくことと並行し、さんコープの組織を強めるために、組合員拡大と増資活動にも取り組んでまいります。

「ご利用者・組合員に寄り添った活動を通じ、地域でいきいきとした老後を送ることができる支援」をさらにすすめていける様に、役職員が一丸となって、組合員の皆様とともに歩みを強めていきたいと思っております。引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

第21回通常総代会が開催されました！

去る6月13日（土）、山口県労福協会館で第21回通常総代会が開催され、全議案、全会一致の賛成で採択されました。

新型コロナウイルスの感染収束に目処が立たない状況の中でしたが、総代会は生協法の中で定められた最も重要な機関会議であり、開催が義務付けられた会議です。安全に開催する為、日程や会場も含めた運営方法を熟慮した結果、日程変更せず、また総代さんの安全を第一に考えて、書面議決による出席を中心に進めることとしました。

その結果95名の出席の内、書面議決による出席が90名、実出席5名、更に来賓もお招きしないという異例の形での開催となりました。今回から提案方法を変更していたことも重なり、約1時間という短い時間ではありましたが、全4議案についてしっかり審議頂けた有意義な時間となりました。



議長を務めて下さった防府総代の安村さん



第1号議案を提案する志賀理事

第1号議案 2019年度事業報告・決算報告・剰余金処分案承認の件、及び監査報告

2019年度は、さんコープ創立から20年となる節目の年でした。11月開催した記念行事では、これまで支えて下さった方々と「さんコープの成人」を祝い、これからに向けて気持ちを新たにしました。

また、これからのサービスの柱となる「生協10の基本ケア」に組織全体で取り組み始めた年でもありました。全事業所、全職員でその考え方や具体的な介護技術を学び、日々の活動に取り入れ始めることが出来ました。

事業収入は、残念ながら予算未達でしたが、昨年よりも伸長することが出来ました。経費は、20周年記念行事の開催等により昨年よりも増えましたが予算内には収まり、その結果、最終の経常剰余は予算比115%の約15百万円を残すことが出来ました。

第2号議案 2020年度事業計画案・収支予算案承認の件

2025年までの「第3次中期計画」に基づき、2020年度を大きく3つの課題（①既存事業の強化②新規事業への対応③内部運営課題の強化）に分けて提案されました。その内、②の新規事業では、さんコープ初の事業となる「看護小規模多機能型居宅介護事業」の2021年度開業に向けた準備として、施設建設もさることながら、特に職員採用と教育・研修に注力して取り組むことが提案されました。



監査報告をする武永監事



第2号議案を提案する永原理事

2020年3月末現在			
<損益計算書> 2019年4月1日~2020年3月31日 単位:千円			
	実績	予算比%	昨年比%
介護保険事業	287,357	94.5	101.5
居住事業	129,554	96.7	99.1
独自事業	16,885	81.6	102.5
事業収入合計	433,796	94.6	100.8
人件費・物件費	419,997	94.2	101.2
事業剰余	13,799	107.3	90.7
事業外損益	845	—	51.0
経常剰余	14,644	115.4	86.8
当期末処分剰余金	45,880	—	112.7

<貸借対照表> 単位:千円			
科目	金額	科目	金額
流動資産	104,097	流動負債	55,157
固定資産	63,002	固定負債	16,399
その他資産	3,701	出資金	24,864
		剰余金	74,380
資産合計	170,800	負債資本計	170,800

<剰余金処分>	
I. 当期末処分剰余金	45,879,580 円
II. 任意積立金取崩額	6,000,000 円
III. 法定準備金	2,000,000 円
福祉事業積立金	500,000 円
事業所新設準備金	15,000,000 円
IV. 次期繰越剰余金	34,379,580 円

<組織状況>	
組合員数	3,530 名
出資金	24,864 千円

第3号議案 役員選任の件・第4号議案 役員退任慰労金支給の件

役員改選年にあたる今年の総代会では、2020～21年度役員を選任が行われ、その結果、新たに3名が加わった17名の新体制が承認されました。また退任される4名の役員に対し、規則に基づき退任慰労金の支給額や支給時期について理事会に一任頂く事も全会一致の賛成で承認されました。

新型コロナウイルス禍の中、例年とは運営の異なる総代会でしたが、だからこそ役職員一丸となった2020年度にしたいと感じた一日でした。

最後に、議長をお引き受け下さった防府総代の安村さん、大任お疲れ様でした。ありがとうございました。

2020-2021 年度役員名簿（地区別、氏名の五十音順）				
地区		氏名	※	略歴
山口市	理事	有馬 泰子	再	2016年～理事
山口市	理事	久保 紀夫	再	2002年～理事
山口市	理事	平田 三男	再	2016年～理事
山口市	理事	堀 勝土枝	再	2012年～理事
防府市	理事	田中小百合	再	2014年～理事
宇部市	理事	志賀 みや子	再	2018年～理事
宇部市	理事	松田 芳枝	再	2018年～理事
山陽小野田市	理事	秋本 和美	再	2004年～理事
全体区	理事長	岡崎 悟	再	2014年～理事
全体区	理事	中山 光江	新	2020年～理事
全体区	専務理事	永原 久道	再	2018年～理事
全体区	理事	鍋山 祥子	再	2016年～理事
全体区	理事	福浪 美紀	新	2020年～理事
全体区	理事	藪本 知二	再	2018年～理事
全体区	理事	若崎 智子	新	2020年～理事
全体区	監事	相本 艶子	再	2006年～監事
全体区	監事	武永 清實	再	2014年～監事

4名の役員が退任されました。
今までありがとうございました。

この度の総代会をもって4名の理事さんが退任されました。

○岩本晋さん・西嶋裕作さん 創立時から10期20年に渡りさんコープを見守り続けて下さいました。

○藤村武司さん 専務理事として3期6年に渡りさんコープ全体の舵取りをして下さいました。

これからは常勤顧問として、主に新規事業の立ち上げに携わって頂きます。

○高木直哉さん 理事長として1期2年お勤め頂き、20周年記念事業では新たなロゴマークを制定するなど、これからの新しいさんコープの方向を示して下さいました。

皆さま、長い間大変お疲れ様でした。これからも組合員としてよろしくお願いします。



左から
 ・岩本晋 前理事
 ・藤村武司 前専務理事
 ・高木直哉 前理事長
 最後に一言ずつご挨拶を頂きました。頂戴した言葉を胸に、これからも皆で協力し努力して参ります。ありがとうございました。

高木直哉 前理事長のご挨拶

就任1年目は、いきなり5年後を見据えた「第3次中期計画」の策定、また秋にはさんコープが団体として厚生労働大臣賞を受賞するという嬉しい出来事があった。2年目は、創立20周年記念事業の企画・開催、そして、さんコープ初の事業である看護小規模多機能型居宅介護事業の認可を受けるという喜ばしい年になった。新しいステージに向かって進んでいる姿は素晴らしいこと。チャレンジ精神を持って取り組んで欲しい。これからは組合員の一人として応援していきたい。



高木直哉理事長から岡崎悟理事長へしっかりとバトンが渡されました。

新型コロナウイルス感染予防への職員のマスク着用について

未だ収束の見えない新型コロナウイルス感染。職員はもちろん、利用者さん・入居者さんやご家族の皆さん、お取引業者さんにもご協力頂きながら感染防止に努めています。どうか安心してご利用下さい。

ただ、職員がマスクをして介護サービスを提供することは継続しますが、これから本格的な暑さを迎えるにあたり、熱中症予防の観点から、以下の場合にはマスクを外して対応させて頂く場合があります。

どうかご理解の程よろしくお願いたします。

<マスクを外して対応させて頂く場合の例>

- 入浴介助等、マスク着用でのサービス提供が困難な場合。ただし、大きな声での声掛けが必要な方や呼吸器系の疾患をお持ちの方への介助の際は着用します。
- デイサービスの送迎や訪問先への移動の際など、職員が一人で車を運転している場合
- 剪定や草取りなど外での作業で、1人又はワーカー同士が離れて作業する場合
- ヘルパーや家事ワーカー訪問の際、掃除等で利用者又は組合員と離れた場所で作業する場合
- 老人ホームやデイサービス等、施設内を1人で移動又は作業する場合 等

定期的な換気、出来るだけ密にならないような配慮、面会者や取引業者へのアルコール手指消毒とマスク着用の要請、検温等の取り組みは継続し、常に周辺の感染状況にも注意してまいります。

さんコープへの「加入」及び「応援増資」へのご協力をお願いします！

毎年1月に取り組んでいます「さんコープ応援増資（出資金の増額）運動」。毎回多くの方々にご協力頂いています。あらためてお礼申し上げます。

一方、近年長く組合員登録頂いていた方が施設入所や他界されるなどの理由で組合員をやめられる方も増えており、2019年度は創立以来初めて前年度よりも組合員数が減りました。（出資金は、皆様の「応援増資」へのご協力により前年を維持しています。）

組合員、そして出資金はさんコープの力の源です。これからも皆様の地域での暮らしに安心をお届けできるよう、さんコープの組織と経営基盤を強化するための活動に取り組んでまいります。

そこで組合員の皆様にもあらためてお願いです。お友達、お知り合いでご自身や親御さんの老後が気になる方やワーカー・ヘルパーとして活動してみたい方、さんコープの主旨にご賛同頂ける方がおられましたら是非ご紹介ください。また、現在組合員登録頂いている方々も「さんコープ応援増資」活動にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

出資金とは？

出資金は、さんコープの活動や事業の元手となる、組合員さんからお預かりする大切なお金です。既存事業の整備の他、新規事業の設備投資の際の原資の一部として活用させて頂きます。出資金が多ければ、さんコープの活動に幅やゆとりが生まれます。

同封の払込取扱票（郵便局）に口数・金額の他必要事項をご記入・ご捺印の上、最寄りの郵便局にてお振込み下さい。入金確認後、お礼と併せて合計出資金額をお知らせ致します。一人でも多くの組合員さんのご参加をお待ちしています。

2020年6月末現在組織状況

() は年度末目標

- ・組合員数 3,545人 (3,615人)
- ・出資金 24,886千円 (27,664千円)